

## 世界の子どもと本を考える

2018年国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト 2018 巡回講演会・共通テーマ

### 「世界の子どもと本はこんなに面白い！」

■ 講師 さくまゆみこ 氏 (英語翻訳家)

愛甲 恵子 氏 (ペルシャ語翻訳家)

■ 日時 2020年 1月 18日 (土)  
10:00 ~ 12:00 (開場 9:30)

■ 会場 気仙沼市立気仙沼小学校  
かなえホール (校舎 2階)  
宮城県気仙沼市笹が陣 3-1

■ 対象 一般 ■ 定員 120名 ■ 参加費 無料

■ 申込 ① 気仙沼市立気仙沼小学校 tel / 0226-22-6966  
E-mail kesenuma-sho@kesenuma.ed.jp  
② JBBY 事務局 tel / 03-6273-7703



さくまゆみこ 氏



愛甲恵子 氏

#### 【講師紹介】

##### さくまゆみこ

編集者・翻訳者。「クロニクル千古の闇」(評論社)や「ホーキング博士のスペース・アドベンチャー」(岩崎書店)のシリーズなど訳書は200点を越える。産経児童出版文化賞大賞、日本絵本賞翻訳作品賞、ゲスナー賞などを受賞。「アフリカ子どもの本プロジェクト」代表。2016年、青山学院女子短期大学子ども学科教授を退官。IBBY 会長。

##### 愛甲 恵子 (あいこうけいこ)

東京外国語大学大学院修士課程修了後、10ヶ月のイラン留学を経て、2004年よりサラーム・サラームというユニットを組んで、イランの絵本やイラストレーターを紹介する展覧会などを開催している。主な訳書に『フルーツちゃん!』『ごきぶりねえさんどくいくの?』(ブルース・インターアクションズ)など。再話作品に絵本『ノホディとかいぶつ』(福音館書店)がある。

「世界の子どもと本を考える」は、81の国と地域に支部を持つ子どもの本の組織、国際児童図書評議会 (IBBY) が隔年で選ぶ、国際アンデルセン賞と IBBY オナーリストの本を紹介し、参加者のみなさんと世界の子どもと本について考える巡回講演会です。講師は専門分野の言語に加え、IBBY・JBBYの活動や意義、また各国の作品についてもお話すの予定です。

資料展示では、2018年度の国際アンデルセン賞受賞作家・画家の作品、並びに IBBY オナーリスト全作品が、直接手に取ってご覧いただけます。



IBBY オナーリスト 2018 の表紙



2018年作家賞  
**角野栄子**（かどのえいこ）

「角野が過去に滞在した外国でのすばらしい経験は、想像力や創造性を育む源となり、その全てが作品に吹き込まれている」（推薦文より）



国際アンデルセン賞メダル

**国際アンデルセン賞**

(Hans Christian Andersen Awards)

1953年に国際児童図書評議会（IBBY）が創設した、2年に1度選ばれる子どもの本の国際的な賞です。その選考水準の高さから、「小さなノーベル賞（A Little Nobel Prize）」とも呼ばれ、世界の児童文学に大きな影響を与えています。受賞者は、IBBY支部が推薦した候補者の中から、国際選考委員会によって選ばれます。2018年は、作家賞に日本の角野栄子さん、画家賞にロシアのイーゴリ・オレイニコフさんが受賞しました。



2018年画家賞  
**イーゴリ・オレイニコフ**

「絵の力で空想を現実に変化させ、読者に、本の中の出来事はほんとうに起こっていると思わせるのは、とても刺激的だ」（推薦文より本人談）

資料展示

# 世界の子どもの本展

— 2018年国際アンデルセン賞受賞者作品・IBBY オナーリスト 2018 —

国際児童図書評議会（IBBY）が61の国と地域から選んだ  
50言語、約200冊の世界の子どもの本を展示します。  
ぜひ手にとってご覧ください。

2020年 **1/14**（火）～**1/24**（金）

会場：**気仙沼市立気仙沼小学校 あんばホール**（校舎1階）

〈展示時間〉

10:00～16:00（最終日の24日は15時まで）

※19日（日）は開場していません。



上：オレイニコフ作『川』

下：角野栄子作『魔女の宅急便』



上から、イラン（ペルシャ語）、オーストラリア（英語）の作品。（IBBY オナーリスト 2018 より）

## IBBY オナーリスト（IBBY Honour List）

国際児童図書評議会（IBBY）が1956年に創設した、世界の優れた子どもの本を集めたリストで、当初は優良賞と呼ばれていました。1980年に「IBBY オナーリスト」と名称をあらため、以来、世界に向けて隔年で発信されています。現在は、文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の3部門からなり、IBBY支部が、世界の子どもたちに読んでほしいと願う、それぞれの国の特徴を持つ最も優れた作品を推薦しています。

2018年版は61カ国50言語191作品が推薦されました。日本からは、文学作品に古内一絵さんの『フラダン』（小峰書店）、イラストレーション作品にスズキコージさんの『ドームがたり』（文：アーサー・ビナード/玉川大学出版）、翻訳作品に母袋夏生さんの『お静かに、父が昼寝しております：ユダヤの民話』（岩波書店）を選びました。日本国際児童図書評議会（JBBY）は、世界の子どもの本が、世界への架け橋になると信じ、子どもたちや子どもの本に関心を持つ人たちに、直接手にとってご覧いただけるよう、IBBY オナーリストの全作品を国内で巡回しています。



『フラダン』



『お静かに、父が昼寝しております：ユダヤの民話』



『ドームがたり』

日本国際児童図書評議会（JBBY）は、国際児童図書評議会（IBBY）の日本支部として、1974年に設立されて以来、「子ども・本・平和」をキーワードに活動を続けています。JBBYはどなたでも入会できます。会費は国内外の子どもの本を結ぶ活動を支援しています。詳しくはJBBY事務局までお訊ねください。「JBBY事務局」Tel 03-6273-7703 / Mail info@jbbby.org 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル5F